

# U15/18 TO マニュアルハンドブック 2024 年度版の主な変更点

2024 年 4 月 JBA TO 委員会

## 2.スコアラーの仕事①(スコアシートの記入)

- ① ファウル記録の説明の枠内に、スローインファウルの説明を付け加えました。〔p2〕
- ② ランニングスコアの説明に、3点の確認方法（審判のシグナル）を新たに記載しました。〔p3〕

## 3.スコアラーの仕事②(審判への合図等)

- ① タイムアウト・交代の認められる時機をまとめた図表を改良しました。〔p4〕
- ② スローインのあと、アローを変えないケースの説明を付け加えました。〔p5〕
- ③ 第2Q終了後にアローの向きを変えることを付け加えました。〔p3〕

## 4.アシスタントスコアラーの仕事

- ① 赤色標識と一緒にチームファウルの個数を表示しないことの説明を付け加えました。〔p5〕
- ② 「(2)スコアボードの操作（得点の入力）」と「(3)スコアラーのサポート」を統合し、「(2)得点の入力とスコアラーのサポート」としました。内容も改良しました。〔p5〕

## 5.タイマーの仕事

- ① ゲームクロックのスタート／ストップの図表を全面改良しました。特に、スタートの時の2段階の動作を強調しました。〔p6〕
- ② タイマーが一旦手を下ろすタイミングと再び上げるタイミングの説明を改良しました。〔p6〕
- ③ タイムアウト終わりのブザーをスコアラーが押す条件を明記しました。〔p6〕

## 6.ショットクロックオペレーターの仕事

- ① 「ここがポイント！（審判の笛 ⇒ ストップ ⇒ シグナル確認）」を新たに記載しました。〔p8〕
- ② 新たに24秒にリセットするケース「ショットクロックが動いているときに新たなコントロールが始

まる場合」に、「スローインされたボールを防御側プレーヤーが直接キャッチする場合も含む」を付記しました。〔p10〕

- ③ 【最後の 2 分】のバックコートでのタイムアウト時のショットクロックの表示方法を新たに記載しました。〔p10〕
- ④ 各 Q、OT の終了間際のショットクロックの表示を消す時機の区切りを、「24 秒～15 秒」「14 秒以下」から「24 秒未満～14 秒」「14 秒未満」に修正しました。〔p11〕
- ⑤ 「ここがポイント！（ショットクロックのリセット）」を新たに記載しました。〔p11〕

## 7.スコアラーク系のコミュニケーション

- ① 得点の際のコミュニケーションに、バスケットカウントのときと、フリースロー時に交代やタイムアウトの請求があったときの説明を追加しました。〔p12〕
- ② 交代の際のコミュニケーションで、アシスタントスコアラークが交代するプレーヤーの番号をコールするときに条件「スコアラークが気付いて言いなければ」を付け加えました。〔p15〕

## 8.タイマー系のコミュニケーション

- ① 「ここがポイント！（タイマーとショットクロックオペレーターのスィンクロ）」を新たに記載しました。〔p17〕

※ 上記以外に、用語・文章表現を改良した箇所が多数あります。特に、「フィールドゴール」は「ゴール」にあらため、随所に「『ゴールとは、ゲームクロックが動いていて、ボールがライブの状態でのショットのゴールを指す。』という説明を付け加えました。